

「読書感想文コンクールに関する意識調査」調査結果（抄）

山口県立萩高等学校 教諭 吉野 潤
 （山口県高教研学校図書館部会 令和四、五年度総務部長）

令和五年二月から四月にかけて標記調査を実施した。調査に当たっては、山口県高教研学校図書館部会を通じ、県内各高等学校の「国語の先生」に趣意書を配布し、これに記載したQRコードからデジタルフォームにアクセスし、回答いただいた。趣意書の内容は次のとおり。

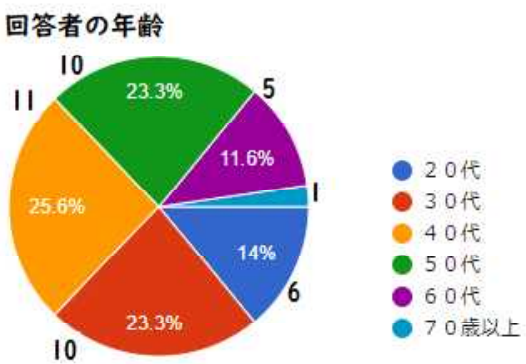
（前文略）本部会の活動の中でも、「読書感想文コンクール」は、全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催の、「青少年読書感想文全国コンクール」の下部大会という位置づけで、実施回数も六十八回を数えます。おかげさまをもちまして、このコンクールには毎年たくさんの方が出品され、本県の学校図書館文化を下支えするものとなっているところ です。しかしその一方で、「読書感想文の安易な強制が読書離れを加速する」という批判や、宿題をチェックしたり審査員を務めたりという先生の御負担の大きさも、無視できない事実として存在しております。つきましては、実際に指導に当たられる先生方（特に国語の先生方）のお考えをお聞きし、今後の運営に活かしていきたいと考え、この意識調査を実施する次第です。可能な範囲で構いませんので、できるだけたくさん先生の先生に御回答いただきたく、お願い申し上げます。

二ヶ月にわたって解答を受け付けた結果、四十四件の回答が得られた。今回の調査は、設問数も多く、回答されるだけでもかなりの手間がかかったはずである。更に、自由記述欄への入力も、複雑だったと思われるが、多くの方から誠実な御意見を寄せていただいた。たくさん先生の先生方から御協力がいただけたことに、まずは心からお礼を申し上げます。

調査結果（抄）

一 調査に御協力いただいた先生方の内訳

教 科……国語 四十三名、国語以外 一名
 所属校種（学科）……全日制普通科 二十四名、
 全日制実業学科 十二名、
 全日制総合学科 六名、
 定時制・通信制 二名
 性 別……男性 十四名、女性 二十四名、回答しない 五名
 年 齢……二十代 六名、三十代 十名、四十代 十一名、
 五十代 十名、六十代 五名、七十歳以上 一名



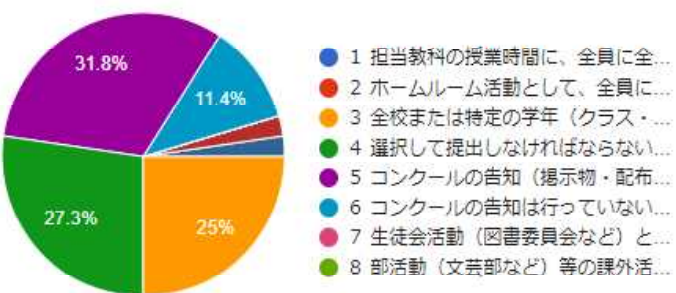
二 読書感想文コンクールに、主としてどのように対応していらっしゃいますか。44件

- | | |
|---|----------|
| 1 担当教科の授業時間に、全員に全部または一部を書かせる。 | 0件（0%） |
| 2 ホームルーム活動として、全員にLHR等の時間に全部または一部を書かせる。 | 0件（0%） |
| 3 全校または特定の学年（クラス・コース）の全員に読書感想文を宿題として課す。 | 11件（26%） |
| 4 選択して提出しなければならない宿題の中に、読書感想文を含める。 | 12件（28%） |

- | | | |
|---|--------------------------------------|-----------|
| 5 | コンクールの告知(掲示物・配布物等を含む)はするが、提出は任意とする。 | 14件 (33%) |
| 6 | コンクールの告知は行っていない。(読書感想文にはかかわっていない) | 5件 (12%) |
| 7 | 生徒会活動(図書委員会など)として、所属する生徒に応募を呼びかける。 | 1件 (2%) |
| 8 | 部活動(文芸部など)等の課外活動として、所属する生徒に応募を呼びかける。 | 0件 (0%) |
| 9 | 無答 | 1件 (2%) |

●1〜4を選んだ理由(二十二件の回答)

- (イ) 読書感想文を書くことが、学習活動として有益であると考えから。
10件 (44%)
- (ロ) 観点別評価を行う上で、他に適当な材料がないから。
0件 (0%)
- (ハ) コンクールで入賞させたいから。
3件 (14%)
- (ニ) 勤務校の前例や、他の先生への配慮や同調から。
7件 (30%)
- (ホ) (その他) 読書の推奨、長期休暇に本を読んでもらいたいから。
2件 (9%)



●宿題として提出された作品を読んだときの感想(1〜4を選んだ方の内、二十一件の回答)

- ア 本をしっかり読み込み、主体的に考察して書かれたものが多かった。
3件 (14%)
- イ 本を読み込んだ結果としては物足りないものが多かったが、前向きに取り組んでいた。
6件 (27%)
- ウ 提出すること自体が目的となっており、内容が空疎なものが多かった。
12件 (54%)
- エ 生徒の作品を読む時間が無かった。
0件 (0%)
- オ その他(無回答)
1件 (5%)

●5〜8(または「その他」)を選んだ理由(二十件の回答)

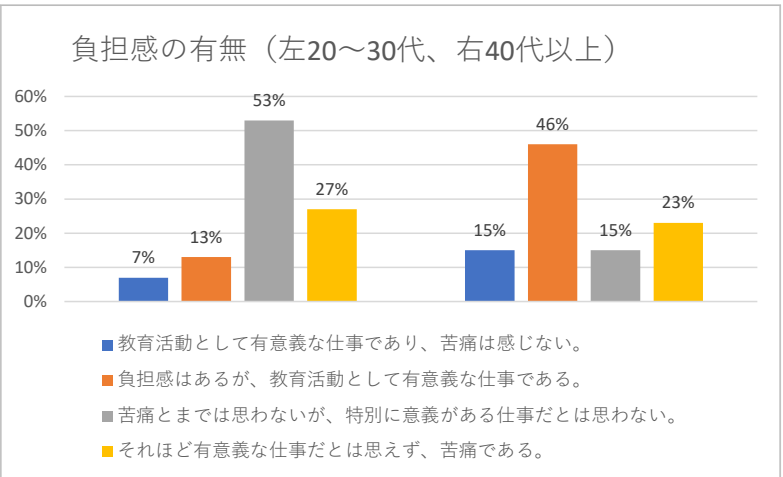
- (イ) 読書感想文(またはコンクール)には賛同できるが、強制するものではないから。
9件 (48%)
- (ロ) 自主的に作品を提出した生徒に、観点別評価において高評価を与えたいから。
0件 (0%)
- (ハ) 読書感想文を書かせることよりも、別の課題に取り組ませたいから。
2件 (11%)
- (ニ) 読書感想文コンクールの在り方に賛同できないから。(対応する余裕がないから)
4件 (21%)
- (ホ) (その他) ・指導するための時間がとれない
各1件

- ・国語科と相談し宿題にはしないこととしたから。
- ・読書ノートを夏季休業中の課題としており、重複を避けるため。
- ・本校では読書ノートの課題があるため、感想文は告知のみにとどめています。また、課題図書という良書(恐らく)を紹介することで有意義な読書活動につなげることを意図しています。

・無回答

三 担当する生徒の作品を読んだり、添削や評価したりすることに対して、負担を感じられることはありますか。(44件)

- 1 教育活動として有意義な仕事であり、苦痛は感じない。 6件 (13%)
- 2 負担感はあるが、教育活動として有意義な仕事である。 13件 (30%)
- 3 苦痛とまでは思わないが、特別に意義がある仕事だとは思わない。 12件 (27%)
- 4 それほど有意義な仕事だとは思えず、苦痛である。 10件 (23%)
- 5 読書感想文関連の業務に携わったことがない。 3件 (7%)



四 読書感想文を募集されるに当たって、コンクールの趣旨や題材の選び方、感想の書き方等を、どのように指導していらっしゃいますか。(43件)

- 1 授業の中で時間を取って全員に指導する。 6件 (14%)
- 2 希望者を集めて指導する。 0件 (0%)
- 3 特に指導はしていない。(質問があれば指導する) 37件 (86%)

五 《「夏休みの読書感想文」が読書嫌いを加速している》という意見がありますが、どのようにお考えですか。

- 1 その通りだ。 2件 (5%)
- 2 そういう面もある。 22件 (50%)
- 3 当たらない。 20件 (46%)

六 読書感想文に取り組むこと(またはコンクールに応募すること)には、他の学習活動と比べてどのような利点があると考えていらっしゃいますか。(複数回答可)

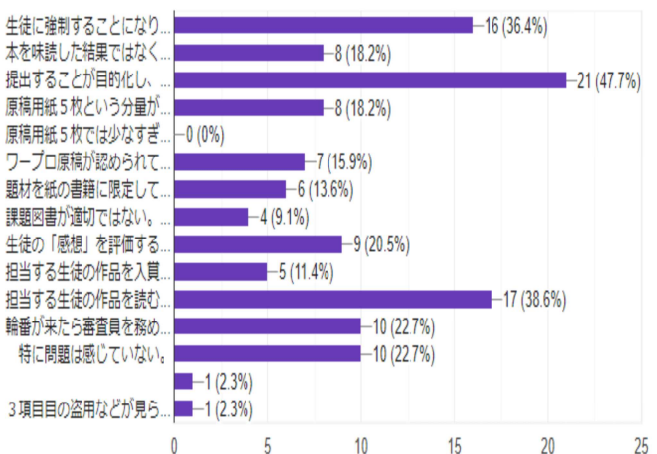
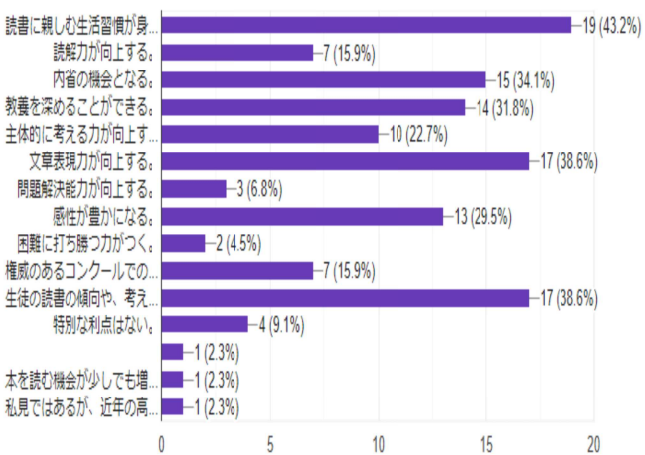
- 1 読書に親しむ生活習慣が身につく。

- 2 読解力が向上する。 7件
- 3 内省の機会となる。 15件
- 4 教養を深めることができる。 14件
- 5 主体的に考える力が向上する。 10件
- 6 文章表現力が向上する。 17件
- 7 問題解決能力が向上する。 3件
- 8 感性が豊かになる。 13件
- 9 困難に打ち勝つ力がつく。 2件
- 10 権威のあるコンクールでの入賞という目に見える成果が得られる。 7件
- 11 生徒の読書の傾向や、考え方を知ることができる。 17件
- 12 特別な利点はない。 4件

七 現行の「読書感想文コンクール」について、不満や困難を感じていらっしゃるごことが

あります。次の中に近いものがありましたら選んでください。(複数回答可)

- 1 生徒に強制することになりがちである。(「生徒の負担になる」を含む) 16件
- 2 本を味読した結果ではなく、体験や道徳的内容を評価するものになりがちである。 8件
- 3 提出することが目的化し、盗用や使い回しも横行し、学習活動として有効ではない。 21件
- 4 原稿用紙5枚という分量が多すぎる。 8件
- 5 原稿用紙5枚では少なすぎる。 0件
- 6 ワープロ原稿が認められていない。 7件
- 7 題材を紙の書籍に限定している。(電子書籍は対象外) 6件
- 8 課題図書が適切ではない。(「つまらない」「選び方に疑問がある」を含む) 4件
- 9 生徒の「感想」を評価すること自体がナンセンスだ。 9件
- 10 担当する生徒の作品を入賞させることにプレッシャーを感じる。 5件
- 11 担当する生徒の作品を読むことや、添削や評価をするのが負担である。 17件
- 12 輪番が来たら審査員を務めなければならないのが負担である。 10件
- 13 特に問題は感じていない。 10件



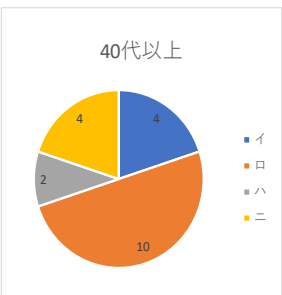
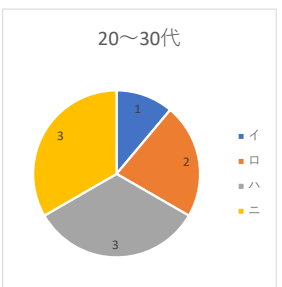
八 県や地区の審査に、輪番の審査員や高教研学校図書館部会の役員として参加されたいとありますが。 (44件)

- 1 ある 31件 (70%)
- 2 ない 13件 (30%)

●県や地区の審査を担当されて、どのような感じになりましたか。(31件)

- (イ) とても有意義な仕事であった。また関わりたい。
- (ロ) 負担は感じるが、有意義な仕事なので、輪番が回ったら引き受ける。
- (ハ) 苦痛ではないが、特に意義を感じることもない。
- (ニ) 苦痛であった。できればもうやりたくない。
- (その他) 主観的な良い悪いを言いにくい。

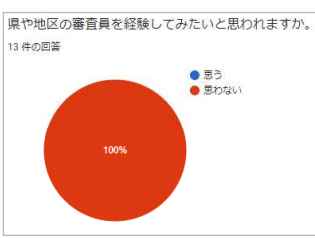
※年代別の分布



●審査員を経験してみたいと思われませんか。(13件)

ア思う

イ思わない



- 5件 (16%)
- 13件 (42%)
- 5件 (16%)
- 7件 (23%)
- 1件 (3%)

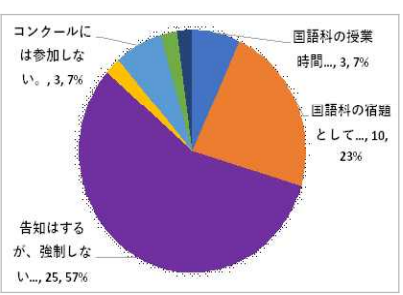
- 0件 (0%)
- 13件 (100%)

九 「読書感想文コンクール」に、どのような形で対応することが望ましい(または「可能である」「負担が少ない」とお考えになりますか。(44件)

- 1 国語の授業時間に、読書感想文の全部または一部を書かせる。 3件 (7%)
- 2 読書感想文を、国語科の宿題として書かせる。 10件 (23%)
- 3 コンクールの告知はするが、提出を強制はしない。 25件 (57%)
- 4 部活動(文芸部など)として所属する生徒に取り組ませる。 1件 (2%)
- 5 コンクールには参加しない。 3件 (7%)

(その他) 国語科の問題ではなく、学年や学校の問題としてとらえて全員に取り組ませる。

色々なコンクールの一つとして対応すればよい



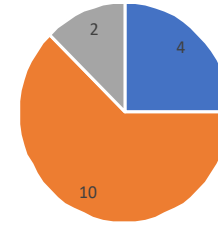
十 「読書感想文コンクール」は、今後どのような形で運営されるのが望ましいとお考えになりますか。(44件)

- 1 現在の形で運営する。 20件 (45%)
- 2 現行の「読書感想文コンクール」には参加せず、山口県独自の読書活動を模索する。 2件 (5%)
- 3 教員の関与を前提としたコンクールはなくしていく。 20件 (46%)
- (その他) 無回答 (2件)

・「原稿用紙に文字を書くことに困難を感じる生徒のために、ワープロ原稿を許容する。」は、現在既に運用されているため、「現在の形で運営する」としてカウントしました。

20～30代

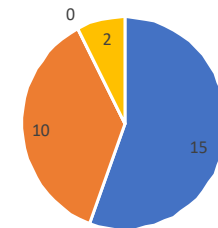
| | | |
|--------------------------|----|-----|
| 現在の形で運営する。 | 4 | 25% |
| 教員の関与を前提としたコンクールはなくしていく。 | 10 | 63% |
| 山口県独自の読書活動を模索する。 | 2 | 13% |



- 現在の形で運営する。
- 教員の関与を前提としたコンクールはなくしていく。
- 山口県独自の読書活動を模索する。

40代以上

| | | |
|--------------------------|----|-----|
| 現在の形で運営する。 | 15 | 56% |
| 教員の関与を前提としたコンクールはなくしていく。 | 10 | 37% |
| 山口県独自の読書活動を模索する。 | 0 | 0% |
| 無回答 | 2 | 7% |



- 現在の形で運営する。
- 教員の関与を前提としたコンクールはなくしていく。
- 山口県独自の読書活動を模索する。
- 無回答

以上、調査結果を御報告させていただきます。御協力くださった先生方、本当にありがとうございます。また、早々に御回答いただきながら、集計結果の御報告が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

これとは別に、回答いただいた先生方から寄せられた、「自由記述」及び、私の「論考」を加えた「完全版」作成しております。御関心がおありの方は、山口県高教研学校図書館部会の最寄りの役員・地区理事に（高教研か入校の先生の場合）、または萩高校吉野に御連絡ください。

令和六年二月二十九日

山口県高教研学校図書館部会
 総務部長 吉野 潤
 (山口県立萩高等学校 教諭)
 yoshino.jun.ig@m.syn21.jp